

クレーンゲームの種類と 大きさ比較

- クレーンゲーム（プライズゲーム）の筐体は、設置スペースやターゲット（子供・大人）、景品のサイズに合わせて多様な種類があります。一般的なゲームセンターで見かける代表的なカテゴリーを、大きさや特徴で比較表にまとめました。

クレーンゲーム筐体 比較表

種類 (カテゴリー)	代表的な機種例	横幅の目安	特徴・主な景品
大型 (3本爪)	デカクレ、UFO Catcher Triple	130cm~170cm	巨大なぬいぐるみやクッション用。アームが3本あり、景品を「掴み上げる」動作が基本。
標準型 (2本爪)	UFO CATCHER 9、クレナフレックス	80cm~90cm	最も一般的。フィギュアや中型のぬいぐるみ用。アーム2本で「ずらす」「落とす」などの攻略が必要。
中型・省スペース	ジェミニ90、カプリチオ	60cm~80cm	標準型より少しスリム。通路脇や小規模店舗に多い。
小型 (ミニクレ)	確率機、ガチャゲッツ、ミニデカ	40cm~50cm	子供向けや、キーホルダー・カプセル等の小物用が多い。
卓上・超小型	ネオミニ、ポケットリフター	30cm~40cm	駄菓子屋やスーパーの店頭にあるタイプ。非常に小さく、飴やマスコットが入っている。

各タイプの詳細解説

大型（3本爪）タイプ

用途：「超大型ぬいぐるみ」など、抱えるサイズの景品がメインです。

構造：天井が高く、景品口も非常に広いです。

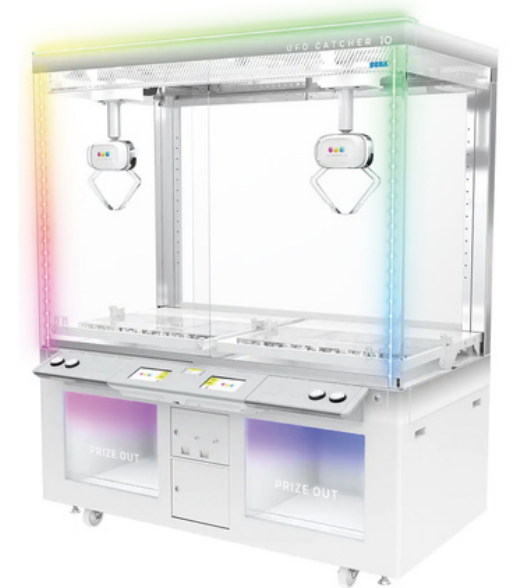


標準型（2本爪）タイプ

用途：フィギュア、お菓子、箱物、アニメグッズ。

構造：「UFOキャッチャー」という名称で親しまれているタイプ。

橋渡し（2本の棒の上に景品を置く）や、Dリング（リングを引っ張る）など、店側の仕掛けによって攻略法が多様です。



各タイプの詳細解説

小型（ミニクレ）タイプ

用途： マスコット、キーホルダー、スクイーズ。

構造： 筐体が低く、子供の目線に合わせて作られています。1回100円で3回遊べるなど、手軽にプレイできる設定が多いのも特徴です。



特殊タイプ（技術介入系）

スイートランド： 景品をすくって、動くテーブルの上に落とし押し出すタイプ。

バーバーカット： 紐をハサミで切って景品を落とすタイプ。

